

やめる勇気をもつこと

校長 河野 通芳

垂水の新城海岸で中学生の乗ったカヌーが流され、数名が一時漂流した事件は、海を利用した行事の多い鹿島でも、決して他人事ではない出来事でした。

最近風の強い日が多く、波はさほどなくても、風にあおられ一旦沖に出てしまうと、中学生の体力では簡単に岸に戻ることはできなかったのだと思います。甑島を取り囲む東シナ海の荒波と違い、錦江湾は内海ですから、この程度なら大丈夫という判断があったかもしれません。また、この行事を行うために、準備に当たった先生方の苦労や、街の大規模校でこのような経験がほとんどない生徒たちの期待度を考えると、つい「これぐらいなら大丈夫だろう」となってしまったのかもしれません。

海のことを知り尽くした方や屈強な大人なら「大丈夫」な条件だったかもしれません、全く経験のない子どもたちの目線に立つと状況はまた違ったものになったはずです。

鹿島中は、身近な東シナ海を題材に、「天草採り」や「遠泳大会」などの行事を行っています。行事の実施に当たっては、学校関係者だけでなく、海のことをよく知る地元の方の声も聞き、最終判断を下しています。また、実施の際も決して無理な行動をしないよう、その都度判断をしながら、行事を進めています。

「せっかく準備したんだから」「子どもが残念がるから」といった情に流されないよう、地域の方の協力を得ながら、時には勇気をもってやめる決断を下さなければいけないと思っています。

昨年度は「網持ち体験」が、悪天候を理由に延期になりました。素人目には大丈夫なのかなと思う波の様子でしたが、海を知り尽くし、海の怖さが身にしみている漁師の方の判断は、違うものでした。万全の準備をしながら、用心を重ね、いざというときには素早い判断をすることが、海に生きるために必要なのだと知るとともに、自分たちが判断する時にも、この姿勢は絶対学ばなければならないことだと思いました。何事にも立ち向かう気持ちとやめる勇気は、決して矛盾しないことを確認した今度の出来事でした。

5月の生活努力目標

一事徹底事項 「学習しやすい環境づくりに努めよう」

- 教室や廊下の掲示板の積極的な活用
- 徹底した整理整頓

小中合同天草採り

5月11日、生徒が待ちに待っていた天草採りが実施されました。

3台の漁船に分乗し、いざ海へ。瀬に移り、それぞれ服に着替え、いよいよ天草採りの開始。気温に比べ冷たい海水に当初戸惑っていた生徒たちも、次第に天草採りに夢中になっていきました。



集中しての採取

この天草は、天日干しを行った後、ゴミ等を取り除き、7月に自分たちの手で心太をつくることになります。生徒も、それを心待ちにしているようです。



みずみずしい天草

ほとんどの生徒が、天草採り初体験でしたが、事前に行われた説明会の注意事項をよく意識することができていました。約2時間ほどの時間でしたが、生徒は一生懸命がんばっていました。さすがに後半は、体が冷えてきたようで、岩場に上がって休憩をする姿も見られました。



冷たい海水

さて、この天草採りの活動は、数多くの保護者・地域の方のご協力で実施することができました。この場を借りて再度、感謝申し上げます。ありがとうございました。

第62回開校記念マラソン大会

さわやかな青空の下、毎年恒例のマラソン大会が実施されました。男女それぞれ5km・3kmで健脚を競いました。

コースは、あまり起伏のない平坦なコースです。しかし、後半小牟田バス停前からの上り坂に生徒は手こずっている様子でした。



緊張のスタート

今年度の1位は男子：梶原君(21分36秒)、女子：山下さん(14分15秒)、躍進賞は塩釜さん、梶原君、中野君でした。そのほかの生徒も自分のベストを尽くしていました。来年は今年以上に力を発揮してくれるでしょう。



感動のゴール



表彰式: 男子



表彰式: 女子

写真で振り返る 34の瞳



左：自分の身を守るために避難訓練の様子です。



右：ミニトマトを、心を込めて植える3年生。収穫が楽しみですね。



左：天草の処理をしている様子です。これが、7月に心太になります。

6月の行事予定

- 5日(金)：プール清掃
- 8日(月)：研究授業(英語・保健体育)
- 12日(金)：夜回り
- 16日(火)：地区中学校総合体育大会(～17日)
- 19日(金)：第1回元気塾(昆虫について)
- 20日(土)：眼科皮膚科検診
- 23日(火)：研究授業(音楽・国語)
- 26日(金)：高校説明会
- 29日(月)：期末テスト(～7月1日)

